

# 琵琶湖森林レンジャー活動事業

【滋賀県】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農林漁業分野】

#### 事業概要

県民の皆さんが広く森林に親しみ、そして、理解してもらえるよう、拠点となる県内の3つの森林公園等に「琵琶湖森林レンジャー」を配置する。

#### 事業費

26,814千円(平成21年度)

#### 事業の開始

平成21年4月～

#### 委託先

(ア)有限会社西浅井総合サービス  
(イ)滋賀北部森林組合  
(ウ)近江鉄道ゆうグループ

#### 配置拠点と 新たな雇用 創出数

(ア)山門水源の森(伊香郡西浅井町) : 2人  
(イ)県立きゃんせの森(米原市) : 1人  
(ウ)県立近江富士花緑公園(野洲市) : 2人



県立きゃんせの森



県立近江富士花緑公園



## 滋賀県



地域雇用失業情勢  
(事業開始時点の有効求人倍率)

滋賀県 0.37倍(季節調整値)

#### 業務内容

①森林ガイドや様々な世代を対象にした森林環境学習の企画と実施

②施設のモデルプログラムの開発や  
観察路の維持点検

③貴重種保護などのための  
森林パトロール

④森林の重要性や森の恵みなど  
についての普及啓発



## 森林レンジャーの声



自然が大好き。自然の中で仕事ができ、公園に来る子どもたちに、学習プログラムを通じて、この自然の素晴らしさを伝える仕事ができることがうれしいです。

どんぐりの木が好きなので、今後は、皆さんから「どんぐり博士」と呼んでもらえるように、専門知識を身につけて、どんぐりの木を使った学習プログラムを作っていくことができればと頑張っています。

人と自然の間に立って、人と自然、人と人をつなぐ仕事ができることに魅力を感じています。この素晴らしいフィールドを活かして、人と自然、人と人をつなげるような、新しい環境学習プログラムを手作りしたいです。



## 今後の姿と課題

滋賀県労政能力開発課  
緊急雇用対策室  
Mさん

- この事業の実施を通じて、琵琶湖の水源である森林の持つ多面的な機能に着目した新たなビジネスの創出につながることを期待しています。
- これからも、琵琶湖や森林、農地といった滋賀の持つ資源を活かしながら、また、福祉や医療、教育など県民の皆さんのニーズの高い分野での雇用創出に重点的に取り組み、地域活性化を図っていきたいと考えています。



事例紹介

ふるさと雇用再生  
特別基金事業

【教育・文化分野】

茶道用の炭は湯を沸かす「炭点前」の必需品で、理想とされる美しい菊状に断面を仕上げるには温度調節など高度な技術が必要です。茶道に欠かせない炭の安定供給を、雇用という形で体制整備し、伝統文化を残すお手伝いをしたいです。

株式会社カーボテック 代表 石橋 昇さん



事業概要

京都府内で国産茶の湯炭の製造を復興し、事業化することによって、茶の湯文化の維持発展・府内の森林整備・地域力再生を図る。

委託先

株式会社 カーボテック  
(本社:京都市上京区)  
従業員数 7人

新たな  
雇用創出数

7人

事業費

約2,350万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年8月～

地域雇用失業情勢  
(平成21年5月時点)

京都府 0.52倍  
京都市 0.57倍  
(ハローワーク西陣管内)



主な業務分担

- 管理技術員⇒技術員の指導及び管理 (1名)
- 林業技術員・作業員⇒クヌギ原木の伐り出し・搬出作業 (3名)
- 製炭技術員・作業員⇒窯造り・製炭・切断箱詰め作業 (3名)

事業計画の  
公募

本事業は、京都府が実施した「企業等からの提案型事業」により採択され、事業実施されるもの。



《茶の湯用の炭～美しい菊状の断面》

## 事業の背景と ねらい

国内の森林荒廃や担い手不足が進む中、茶の湯炭の大半を担ってきた中国産が5年前に輸出禁止となり、将来的に供給不足となることが懸念されている。

ふるさと基金事業を活用して失業者を雇い入れ、事業を立ち上げる。森林組合から技術的協力を得ながら、森林整備の担い手を雇用し、将来的には炭焼き技術の継承者として育成する。

森林を育成しつつ、10日間燃やし続ける「炭焼き」を復興し、将来的には国内需要相当分の生産を目指す。(初年度目標5トン)

日本の伝統文化である茶の湯(茶道)の維持発展を図る

《茶の湯用の炭は「炭点前」の必需品》

## 今後の姿と課題



京都府商工労働観光部  
緊急経済・雇用対策担当  
細見 史子さん

文化や環境など、京らしさを兼ね備えた事業として期待してます。

「丹波の炭」のような新しい京都のブランドとして成長し、雇用の場が拡大していけばいいですね。



《炭の復興にあわせて森林整備やそれを担う人材育成を行う》

